

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



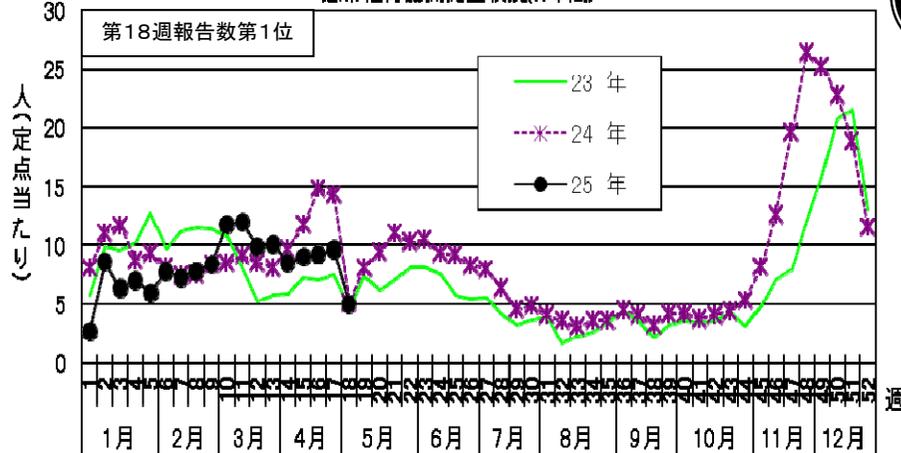
平成25年4月29日（月）～5月5日（日）〔平成25年第18週〕の感染症発生状況

第18週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。

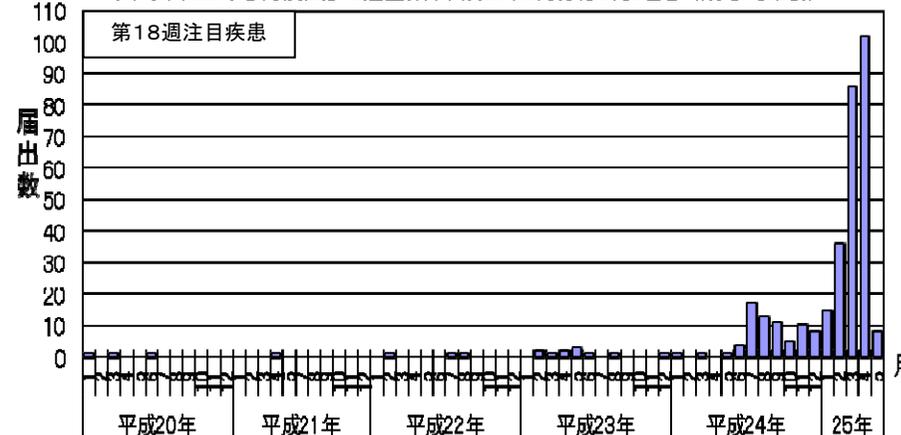
感染性胃腸炎は定点当たり5.00人と前週（9.61）より患者報告数は大幅に減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.03人と前週（2.85）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

風しんの届出が12件あり、前週と比較すると届出数は減少しましたが、第18週はゴールデンウィーク期間中であり、休診していた医療機関が多かったことが影響していると考えられるため、今後も引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年5月分は5月5日診断分まで集計)



麻疹風しん混合ワクチン接種費用の一部助成実施中！

川崎市では、例年を大きく超える風しんの流行に対応するため、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施しています。

風しんは、一般に予後が良好な感染症ですが、妊婦が感染すると、胎児に先天性心疾患、難聴、白内障などの症状が現れることがあるため、多くの方がワクチン接種を受けることで、今後生まれる赤ちゃんを守ることが大切です。

対象者

川崎市民で、原則として風しんにかかったことがなく、予防接種を受けたことがない方であり、次のいずれかに該当する方については、この緊急対策により1回接種することができます。

1. 妊娠している女性の夫（児の父親）
2. 23歳～39歳の男性（昭和49年4月2日～平成2年4月1日生まれ）
3. 23歳以上の妊娠を予定又は希望している女性（平成2年4月1日以前の生まれ）

接種費用

2,000円程度（通常は1万円程度）

接種期限

平成25年9月30日(月)まで（予定）

妊娠中の方は接種ができません。また、接種後2か月間は避妊する必要があります。

詳細は、お住まいの区の区役所保健福祉センター・地域保健福祉課までお問い合わせください。

